



島教協

《「子どもたちのより良き成長のために」》

情報

http://www.kyougikai.org

E-mail
office@kyougikai.org

〒693-0011 出雲市大津町2214 Tel/Fax:0853(22)7762 代表者 吉田 修 編集人 岡 利行 No.716

島教協会員を増やすために

島教協事務局長 岡 利行

私たち島教協は「子どもたちのより良き成長のために」というスローガンのもと、島根県教育委員会への要望活動や様々な活動を行っています。

しかし近年、団塊の世代の大量退職、管理職登用などが進み、会員が減少傾向にあります。職員団体としては会員がたくさん所属していることが活動を活発にしたり、要望を強力に訴えたりすることにつながります。そういう面で、積極的に会員を増やしていかなければならない状況にあります。

事務局としては、会員を増やすために今年度、新規に二つのことを計画しました。これらを会員の皆さんに活用していただき、会員を増やしていきます。

一つ目は、「再任用会員の募集」です。今まで島教協会員だった方に、再任用後も月額一、〇〇〇円で仲間に加わっていただくシステムを作りました。各職場で再任用の〇Bに声を掛けていただきたいと思います。詳しくは別添の「再任用会員としての加入のご案内」の文書をご覧ください。

二つ目は、会員外の方に島教協について知ってもらうための「PR用のチラシ」を配布することです。今回はまず出雲市内の全教職員に配布したいと思います。ご多用とは思いますが、このチラシを配りながら、島教協をPRし、賛同していただける人を増やしていきたいと思えます。出雲市外の学校には、会員にお送りします。(事務局へ連絡いただけます。)

この二つ以外にも、従来通り組織対策費(お茶会など)をして会員を誘うときの費用)の活用や新規加入者のいる園・学校には「加入助成金」もあります。会員を増やすために、みんなで努力していきます。



全日教連次期リーダー研修会に参加して

出雲市立須佐小学校 養原 孝徳

八月十九日～二十日、全日教連の次期リーダー研修会が、東京の都市センターホテル・国会議事堂・自由民主党本部を会場に開催され、参加しました。

一日目は、全日教連成立の経緯や理念についての講話やワークシヨップ、参議院の見学が行われました。ワークシヨップでは、「私から変える学校の働き方改革」というテーマで、四名のグループで協議し、発表しました。私のグループでは、勤務時間管理の中心にどのような取組ができるのかを具体的に考えました。話し合いを通して、職員室、職員間の関係や雰囲気によるところが大きいのではないかと思います。教育活動全般にも関わるところだと思えます。教職員がそのまま向き合い、関わられる集団であると、子どもにとっても良い環境となり様々な業務にチームで取り組めると思えました。他のグループの発表では、人員の確保に関する話題が多く出ていました。しかし、国の予算の割り当てにより、現実的には非常に難しいというお話が講評の際にありました。ワークシヨップの後には、参議院の見学に行きました。六年生の社会科に関わる、とても良い資料を得ることができました。

懇親会では、他県の先生方と交流を深めると同時に、貴重な話も聞くことができました。特に、今年の三月末に総合的な学習の時間の取り扱いについての通知が出ており、年間十八時間を家庭での学習に充てても良いとされたことは、勉強不足で承知していなかったので驚きました。最新の教育情勢を知り、実態に合わせ取捨選択し、活用していくことも大切なことであると感じました。

二日目は、自民党の見学と義家弘介先生の講演が行われました。義家先生の講演では、働き方改革や定数改善のことなど話題は多岐に及びましたが、全体を通して「子どもにとって」ということが中心に据えられており、ぶれてはいけな部分であると改めて感じました。特に印象に残っているのは、教師集団として教育にあたること、本音で向き合うことについてお話でした。激励の言葉もいただきましたので、より一層気持ちを引き締めて頑張っていこうと、気持ちを新たにすることができました。

今回の研修を通して、他県の様子や、先のことを見据えて取り組んでおられる方の存在を知ることができました。私の視野を広げるよい機会となりました。

2020年度概算要求主要事項 ～文部科学省初等中等教育局～

新学習指導要領の円滑な実施と

学校における働き方改革のための指導・運営体制の構築

(チームとしての学校運営体制の推進)

◆義務教育費国庫負担金

- ・加配教職員定数の改善 +85億円 (+3,920人)
- ・基礎定数化に伴う定数増 +7億円 (+315人)
- ・教職員定数の自然減 ▲49億円 (▲2,249人)
- ・教職員配置の見直し ▲43億円 (▲2,000人)
- ・教職員の若返り等による給与減 ▲4億円
- ・教員給与の見直し +1億円

≪教職員定数の改善≫ +4,235人

1. 学校における働き方改革 +3,820人
 - ①学校の指導体制の充実—教員の待ちコマ数軽減による教育の質の向上
 - 小学校専科指導の充実
 - ・小学校英語専科指導のための加配定数 +1,000人
 - ・義務教育9年間を見通した指導体制への支援 +2,090人
 - 中学校における生徒指導や支援体制の強化 +670人
 - ②学校の運営体制の強化
 - ・学校総務・財務業務の軽減のための共同学校事務体制の強化 (事務職員) +30人
 - ・主幹教諭の配置充実による学校マネジメント機能強化 +30人
2. 複雑化・困難化する教育課題への対応関連 +415人
 - ・教育課題への対応のための基礎定数化関連 +315人
 - 通級による指導 +426人
 - 日本語指導 +79人
 - 初任者研修 +39人
 - 自然減等 ▲229人
 - ・いじめ・不登校等の未然防止・早期対応等の強化 +670人
 - ・貧困等に起因する学力課題の解消 +50人
 - ・「チーム学校」の実現に向けた学校の指導体制の基盤整備 (養護教諭・栄養教諭等) +20人
 - ・統合校・小規模校への支援 +30人

≪教員給与の見直し≫

- ・管理職手当の改善 (校長・副校長・教頭の支給率改善)

◆専門スタッフ・外部人材の拡充

- スクールカウンセラーの配置充実 (全小中学校 27,500校)
- スクールソーシャルワーカーの配置充実 (10,000中学校区)
- 補習等のための指導員派遣事業
 - (1) 学力向上を目的とした学校教育活動支援 9,100人
 - (2) スクール・サポート・スタッフの配置 3,600人 → 5,400人
 - (3) 中学校における部活動指導員の配置 9,000人 → 12,000人
- 特別支援教育専門家の配置 3,382人
 - ・医療的ケアが必要な児童生徒のための看護師や特別支援学校の専門性を向上するための外部専門家(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等)の配置



◆学校における働き方改革の推進

- 学校における働き方改革推進事業

島教協相互援助規定のご紹介

- ①結婚祝金の給付 5,000円
- ②出産祝金の給付 5,000円
- ③永年勤続祝金の給付 5,000円
- ④病氣見舞金の給付 5,000円 (傷病約1ヶ月の療養)
- ⑤災害見舞金の給付 (住宅又は家財の損害を受けたとき 程度に応じて)
- ⑥死亡弔慰金 (会員・会員配偶者死亡)

上記の規定に該当するときは、ご本人または学校代表は、事務局まで連絡をお願いします。

新会員加入助成のご紹介

- ① 新規に会員が加入された場合
単組・支部と学校にそれぞれ 2,000円(講師は500円)の加入助成金を支給します。
- ② 勧誘活動の助成
学校や専門部会において、新規に会員を勧誘するための茶話会等を行われる場合は、その経費の一部を助成します。島教協事務局までご相談ください

こんな制度も利用して、新会員を増やしていきましょう!

島教協会員証特典のご紹介

- 「T・ジョイ出雲」
(ゆめタウン 出雲東館3階)
劇場売店にて
- 「島教協会員証を提示する」と
- 売店人気ナンバー1の
ポップコーンセット
(通常750円)を
ワンコイン(500円)で
購入できます!
- ぜひ、
劇場売店へお立ち寄りください。
同伴者も同様の対応ができます。